

第3回ひろしまカレッジフォーラム
「学生による大学と地域の交流フェスティバル」を開催して

【広島を盛り上げたい】

私達「広島キャンパスフェスティバル実行委員会 LiNkx」は昨年、広島で未だかつて誰も成し得なかった“学生初の無謀な挑戦”をしました。それが『広島キャンパスフェスティバル』開催でした。そして、その時最も強く感じた事は地域の人々や学生たちの応援、支援、また「広島を盛り上げたい」という熱い想いでした。そこで私達は自分達だけではなく、広島の人も広島を元気にしてみたいと思っているのだと確信したのでした。

今回のフォーラムではその「元気にしたい」という想いをきっかけに学生が動き、全国各地で発信していることや、地域でも盛り上げていこうと活動していることに気づくことができました。そして今回のフォーラムのような交流を通して、全国で繋がっていくことで「日本を元気に」できるのではないかと思うことができました。

京都学生祭典は、コンソーシアム京都が学生をバックアップして町全体で一つの恒例行事になっていると聞きました。

実際に私達の課題であった「学生が集まる場所」は小学校の廃校を行政に貸してもらっていたり、京都府内の学生から一人100円ずつ集めたりと本当に多くの支援がされている点は広島とは異なり、「羨ましい」と思う反面、オリジナルの踊りがしっかりと確立されており文化としての礎を創っていく経験を積んでいるからだとも思いました。

石川合同大学祭は逆に、県や市、教育機関からの支援もなく学生の力で4年間祭りを立ち上げてきて石川を盛り上げてきて、昨年「学生の街条例」を産み出した点は私達広島キャンパスフェスティバル実行委員LiNkxにとって「発信し続けければ、街を動かせる」証明にもなりました。

私達はこれから、“広島キャンパスフェスティバル”を作っていく中で、昨年の反省点を活かし、多くの地域の人々を巻き込んで、私達、学生にしかない視点を大事にしながら、“広島キャンパスフェスティバル”を文化として根付かせていくこうと思いました。

石川のように、ないもの求めのではなく自分達が作っていく。

そして地域を巻き込んでいく。

そこで京都のようにオリジナルな文化にする。

“広島キャンパスフェスティバル”を多くの学生の育ちの場、また地域と一体となれるようなきっかけ、機会にしていこうと思いました。

(広島ききヤンパスフェスティバル実行委員会代表 広島大學3年 土谷薫也)

【主体性を育む合同大学祭】

ひろしまカレッジフォーラムに参加して、改めて「地域と学生たちが連携した学園祭」が与える影響は大きいと感じた。

「学生たちが、自分で知恵を振り絞ってお祭りを発信することで主体性を

得ることができる」という点が、石川県、広島県、京都府の3府県に共通している。学園祭を運営するだけで、多くの主体性を必要とする。「運営メンバーをうまくまとめるにはどうすればよいか」「お金を集めるにはどうしたらよいか」「違う学校の人たちとうまく予定あわせられるか」といった内部のことや、「どうやったらお客様が楽しめるか」「協賛企業にメリットを与えられるか」といった外部のことなど、自分達で責任をもって考える機会がある。どこの府県も、それぞれ工夫して主体性もって自分達で運営している。また、地域の人たちと関わることで「責任感」を育む経験を積める。3府県とも、イベントを自分達が主催者となって責任をもって運営することで責任が発生しているが、京都は警備といったことも学生で行うなど、社会的責任も果たしている。

地域は、学生が「社会に出て何かを発信する」取り組みを是非これからも応援してほしい。社会との関わりが一番の勉強になる。私自身、「学園祭の打ち合わせの説明不足で企業の人に怒られる」などして社会のルールを改めて学んだ。学園祭に限らず、学生が「社会に何かを発信し主体性を育む」機会が、これからもっと増えて欲しい。

(‘合同学園祭’09実行委員長、金沢大学教育学部、水野 陽介)

進捗状況

3月18日（木）に、外部評価委員、大学コンソーシアム石川の古畠徹金沢大学教授、大学コンソーシアムコーディネータ佐藤文昭氏をお招きし、実施報告、進捗状況、次年度の予定を説明し、質疑応答を行い、終了後、各コンソーシアムの運営に関する講演会を開催し、18名参加がありました。

3月30日（火）は、三次高等学校において次年度の高大連携事業について三次、庄原実業、向原、日彰館高校の担当者と打ち合わせをしました。

2010年度からひろしまカレッジ「大学で開講する公開講座」が始まります。HPへの掲載、「ひろしまカレッジメールマガジン」講座案内配信を行います。

(事務局)

会議報告

3月9日（火）

第12回戦略的大学連携運営委員会（広島国際学院大学立町キャンパス）17時～
3月18日（木）

戦略外部評価委員会（広島経済大学立町キャンパス）13時30分～

3月19日（金）

第3回戦略的大学連携委員会（広島国際学院大学立町キャンパス）9時30分～

<発行：問合せ先> 教育ネットワーク中国

〒730-0011 広島市中区基町10-3（広島県庁内 自治会館3階）

TEL 082-209-8044 FAX 082-209-8045

E-mail office@enica.jp URL <http://www.enica.jp/>

※等幅（固定幅）フォントでご覧ください。

※お預かりする個人情報は、適切に管理し、承諾なく上記の目的以外に利用すること、第三者に開示することは一切ありません。

※内容の無断転写を禁止します。